

例年になく梅雨の時期が長く、7月末だということにじめじめと暑い日が続いています。ただ、そんな梅雨の時期もそろそろ終わりが見えてきました。天気予報を見ていると、間もなく暑い夏がやってくるようです。ようやく本格的な夏がやってきます。

さて、先日の道徳の授業では1学期の道徳についての振り返りをしました。(1, 2年生のみ) コロナウィルスの影響もあり、例年に比べると授業の回数が少なかったですが「1学期、どんな授業したか覚えている？」とみなさんに聞くと「〇〇の話やったやん！SNSの話もしたやん！」との声がたくさん聞こえてきて、とても嬉しかったです。そのあとに振り返りを書いてもらいましたが、その振り返りを読んでいると、生徒のみなさん一人ひとりが自分の授業についてしっかり受け止め、振り返れていることがわかりました。それぞれ印象に残った授業は違うと思いますが、この



1学期に授業を通じて感じ、考えたことが少しでもみなさんの心に残っていたら嬉しいです。道徳の授業で感じたことを大切にしていって、これからの学校生活、そして日々の生活に少しでも生かしてください！

短い夏休みになりますが、その1日1日がみなさんにとって有意義なものとなりますように願っています！



授業の様子を紹介します

“一万時間の法則”

世界で活躍しているスポーツ選手のことを、どこか自分とは違う天才なんだ、と思っていませんか？でも、その選手たちも毎日目標を立て、地道な練習を積み重ねたからこそその結果なのです。何事も、練習をし続ければ、どんどん上達します。大事なものは、どんなにしんどいこともしっかりと続けていく力です。

これから夏休みに入ります。みなさんはこの休みをどのように過ごしますか？何か一つでも目標を立てて、努力する、そんな夏休みにしてほしいと思います。

《ワークシートより（授業の感想）》

- 今日の授業で、地道な作業も一つ一つ大切なんだということがわかった。私も課題とかめんどくさいと思っていただけ、少し頑張ってみようと思う。
- 自分は将来の夢があるので、これから少しずつ努力していきたいと思う。練習しないと結果はない。もし失敗するとしても、努力して失敗するほうがいいので、その夢に向かって一万時間努力したい。
- 生まれつきの天才だと思っていただけ、同じことをコツコツ毎日できる人が「本当の天才」なんだなと思えたし、一万時間を毎日2時間、3時間、なんでもいいから積み重ねていくと結果につながるということがわかった。
- しっかり目標をもって夏休みを過ごしたい。部活も勉強もどちらも大切だし、毎日続けていきたい。しんどくても必死で頑張って、天才じゃなくても、誰かに認められて、頼られたり、尊敬される人になりたい。



“ゴール”

今回のお話は、北中学校バスケットボール部に所属する5人のお話です。ある練習試合に負けた後、メッセージアプリを通して会話する5人。しかし、それをきっかけに5人の心が少しずつずれていきます。最初は5人のグループでしたが、いつの間にか3人だけのグループができていて、そこではマイナスの発言ばかり。最終的には、お互いの誤解が解け、次の試合に向けて5人の心は1つになりましたが、5人の心の中で一体何が変わったのでしょうか？私たちが普段当たり前に使っているメッセージアプリやSNS。みなさんもメッセージアプリやSNSを利用して似たような経験をしたことはありませんか？これをきっかけに自分自身のメッセージアプリなどの使い方をぜひ振り返ってほしいと思います。

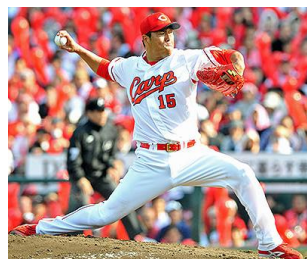
《ワークシートより（授業の感想）》

- ・実際にもめたこともあるから、よくない誤解を招かないように送信する前にもう1度よく考えてから送信したいと思った。
- ・SNSは楽しいけど、使い方に気を付けないといけないなと思った。自分が送ったものを見て相手がどういう気持ちになるか考えることが大切だと思う。SNSの使い方を見直そうと思う。
- ・やっぱり自分の言葉に責任を持つことが大切、そして周りに流されない！直接言えないことをネットで言うのはだめだと思う。
- ・今日の授業で、決めつけたまま悪口を言うのはだめだなと思った。自分の言動や行動に責任を持つと改めて思った。
- ・こういうこともあると自殺してしまう人もいるかもしれないから、そういう人をなくすためにも影で人の悪口を言うのはダメだと思う。あと、理由もなく決めつけるのもダメ！自分がされて嫌なことは人にしない。SNSは悪口を言う場所ではない。



“背番号15が歩んだ道—黒田 博樹”

広島カープで長年活躍した黒田博樹選手のお話です。高校時代はレギュラーになれず無名の選手でしたが、あきらめず、ひたむきに大学でも野球を頑張り続けました。その結果、広島カープからスカウトされ、プロ野球選手としての人生を歩み始めました。そしてカープのエースとして活躍します。そんなとき他球団に移籍する可能性が出てきました。それを知ったファンは残留を望みますが、黒田選手が選んだ道ならば応援するというメッセージが込められた横断幕を掲げます。一度は残留しますが、のちにMLBで野球をすることを決断します。MLBでも素晴らしい活躍を遂げていましたが、高い契約金を断って、もう一度広島カープでプレーすることを決断します。なぜこのような生き方を選んだのか。ファンと黒田選手の思いとは。その姿から大切なことを学びました。



《ワークシートより（授業の感想）》

- ・自分を支えてくれたファンの方々やたずさわってくれた人たちにいつも感謝を忘れずに、思いやっていたから黒田選手はファンに愛されたのだと感じた。周りの大切な人たちを愛し、自分も愛されるような生き方をしていきたい。
- ・最初からすごい才能を持っているのではなく、自分に足りない力を補うためにたくさん努力して、プロの世界で活躍しているのがすごくかっこいいと思った。黒田選手がカープファンの心を動かしたように、人が人に与える影響は素晴らしいものだと思う。
- ・「苦しまずして栄光なし」という言葉の通り、楽をしても人間は成長できないということ、そして反対に努力すれば結果が実ることが本当にあるということが分かった。だから自分は苦しいときほど頑張るようにしたい。